

広報 たかのす

平成17年
むつき
睦月



「踏みたわら」



「ほんでき棒」

迎春



「はこ轎(そり)」



「いろり」

勝平得之「冬の版画集」より
(鷹巣町教育委員会保管)

2005



謹賀新年

新たなまちづくりに向け皆様と共に



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。さて、昨年は鷹巣町にとって大きな選択をした一年になりました。

ご承知のとおり、「鷹巣、合川、森吉、阿仁」の4町による合併が合併調印と各議会の決議を経て本決まりとなり、本年3月22日には「北秋田市」が誕生するという昭和の合併以来、実に半世紀ぶりの歴史的な選択をいたしました。

このことは偏に、粘り強く協議を重ねてきた4町相互の努力と結束が結実したものであり、町民の皆様のご理解とご協力の賜物と改めて感謝を申し上げます。同時に、この度の合併に向けた取組みは、各町の「住民・議会・行政」にとりましても当該地域がおかれている現状や課題を再確認し、共通認識を図る上で大変有意義な取組みであったと考えており、新市移行に向けた基礎づくりという意味において大いに収穫があったものと感じております。

加えて、長年懸案となっておりました鷹巣阿仁地域の医療体制の確立についても、合併の進展に歩調を合わせるように北秋中央病院・公立米内沢総合病院・阿仁町立病院の統合問題が概ね関係機関との協議も整いつつあり、現在は平成21年の開院を目指し高次医療を提供する地域医療支援病院の構想づくりに傾注しており、町長就任に際して大きな柱の一つとして掲げていた地域医療の充実強化という目標は、診療所と統合病院の連携という新たな形態により達成されようとしております。

更に、あけぼの町地区の大型商業施設の問題も、出店希望者と地権者との度重なる協議を経ながら、2社の出店という方向で決着をみようとしており、加えて綴子地区に進出希望の商業施設もあることから、新市の核としての鷹巣町の賑わい創出と雇用の場の確保に向け、着実に動き出そうとしております。

また、福祉のまちとして高い水準のサービスを提供して参りました福祉政策は、年々厳しさを増す財政状況のもと、一般財源の持ち出しを縮減し介護保険事業は介護保険内で賄えるよう関連業務の改善・各事業の見直し・民間への移行等により、サービスの低下を招かないためにも鋭意検討しているところであります。

本年3月には鷹巣町と北秋田市の新旧交代が行われます。鷹巣町は50年にわたる町制にピリオドを打ちますが、これまで鷹巣町の発展のためにご尽力を賜りました多くの先人並びに町民の皆様に対し心より感謝を申し上げますとともに、有終の美を飾り北秋田市へ鷹巣町の魂を継承し、皆様と共に新たなまちづくりに向け邁進して参りたいと存じます。

新市元年、本年が皆様にとって記念すべき良い年となりますよう、併せて健康で幸せな一年となりますようご祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。

平成十七年 元旦

鷹巣町長 岸 部 隆

市長部局は5部1事務所4支所 「北秋田市」誕生まで残り2カ月22日



合併決定書を受け取る岸部町長



今年3月22日に合併する「北秋田市」の合併決定書交付式が先月20日、森吉町役場で行われ、決定書が石井北秋田地域振興局長から4町長に手渡されました。

決定書の交付は、15日の県議会で「北秋田市を設置する旨の市町廃置分合」を議決、翌16日に県知事が廃置分合を決定し、同日付で総務大臣に届け出たもので、美郷町、由利本荘市などに次いで県内では5番目。

交付後、岸部町長は「鷹巣阿仁地域は、もともと一体となつてい

るので、協議会でも早く決まってきたことは、関係者のまとまった取り組みが功をさしたと思う。残念なのは上小阿仁村が入らなかつたことだが、立派な市を目指してさらに頑張りたい。」と目前に迫つた新市誕生への思いを述べました。

また、第15回鷹巣阿仁地域合併協議会が、21日、鷹巣阿仁広域交流センターで開かれ、市町部局を企画、総務、市民生活、産業、建設の5部1事務所4支所体制とする事務組織および機構の取扱いについての具体的調整などの報告が行われました。

これによると企画部には総合政策課、財政課、広報情報課、電算システム課、総務部には総務課、職員課、管財課、税務課、収納課、市民生活部には市民課、保険課、医療推進課、保健センター、生活環境課のほか、福祉事務所の福祉課、高齢者支援課。産業部には農林課、商工観光課。建設部には都市計画課、道路河川課、下水道課。

市町部局以外は議会事務局、教育委員会（総務課、義務教育課、高校教育課、生涯学習課、中央公民館、スポーツ振興課、国体準備室）、農業委員会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員会事務局を設置することとしています。

また、職員数については、市町部局が435人（うち鷹巣支所27人、合川支所40人、森吉支所43人、阿仁支所45人、出先機関118人）、市町部局以外が97人（うち出先機関48人）の合計532人となります。

町長日誌

12 / 1
15

1日(水)

平成16年度災害復旧事業促進全国大会及び設立50周年記念式に出席。

(社)秋田県防災協会による要望活動のため衆参両議員会館を訪問。

北秋田郡町村会協議会に出席。

2日(木)

全国町村長大会に出席。

鷹巣町消防団長に事例を交付。

3日(金)

鷹巣・合川・森吉・阿仁4町社会福祉協議会による合併調印式に出席。

4日(土)

鷹巣町民生児童委員協議会嘱状伝達式に出席。

5日(日)

鷹巣町民生児童委員協議会歓迎会に出席。

6日(月)

前山森林交流センター神事及び祝賀会に出席。

7日(火)

公民館まつりオーブニングに出席。

8日(水)

一日人権養護委員として委嘱状を受理後、街頭啓発活動に参加。

森吉町外四力町村病院組合正副管理者会議に出席。

9日(木)

第20回四町長会談に出席。

10日(金)

放牧場利用組合反省会に出席。

11日(土)

「年末の交通安全県民総ぐるみ運動」及び「年末年始における犯罪及び事故防止期間」に向けた結団式に出席。

12日(日)

平成16年第8回鷹巣町議会定例会初日。

13日(月)

鷹巣町医療団体との業務協議会に出席。

14日(火)

国の三位一体改革の推進に関する研修会に出席。

15日(水)

平成16年第8回鷹巣町議会定例会一般質問初日。平成16年第8回鷹巣町議会定例会一般質問二日目。第21回四町長会談に出席。

今年 は西 二年 です

輝かしい新年を迎えました。

今年の干支は「酉」。十二支の動物の中で、ただ一つの鳥類です。

また、鳥類の中で唯一、時を刻むのがニワトリです。元旦に多くの場所でニワトリの第一声が聞かれたことと思います。

このニワトリの第一声が、町制施行50年の歴史で、今年3月に「北秋田市」へと引き継がれるこの鷹巣町にとっても、新しい時代の幕開けを告げる「時の声」になるでしょう。

そこで、広報たかのす新年号特集として、町内7校の5年生の生徒7人から、「北秋田市への夢」をテーマにした、それぞれの思いを率直に書いていただきましたのでご紹介します。



津谷いずみさん
(西小学校5年)

北秋田市にのぞむこと

私が、北秋田市に一番のぞんでい
ることは、緑がたくさんきれいな
市になってほしいということです。

今住んでいる鷹巣町が私は大好き
です。この鷹巣町のように、自然を
大切にしたいと思っています。

先日、社会科見学で男鹿に行った
時、海ぞいにたくさんゴミが落ちて
いました。それを一人のおばあさん
が一けん命ゴミ拾いをしていたの
です。その姿を見た時、私は、自分
の住んでいる所も、ゴミが落ちてい
たら拾う人がたくさんいるような美
しい市にしたいと思いました。

西小で、全校クリーンアップを行
った時、やはりゴミがたくさん集ま
りました。

北秋田市にのぞむことは、緑がた
くさんの美しい市にしたいというこ
とです。そこに住む私たちが、美し
いものを美しいと思える心がある人
になっていきたいと思っています。



伊藤陽郷くん
(綴子小学校5年)

北秋田市への夢

僕の鷹巣町や周辺の町が合併して
北秋田市になったときの望みは、ま
ず合併しても福祉活動を続けてほし
いということです。

今の鷹巣町は、お年寄りをすごく
大切にしているので、合併してもお
年寄りが住みやすい町でいてほしい

です。

また、今よりもっと住みやすく、
環境にもやさしく、野生の生物もた
くさん住めるような町にしてほしい
です。いくら住みやすくても、自然
環境が悪ければ意味がないので、み
んなでゴミを拾ったり、植樹をし
りして、自然と共存できたらいと思
います。

今、世界中では戦争や争いをして
いますが、北秋田市では争いや事件
のない平和な町であってほしいと思
います。

自分が大人になっても、環境を破
壊せず、ずっと平和な町だったらよ
いと思っています。



嘉藤 耕くん
(鷹巣小学校5年)

北秋田市への二つの願い

僕は新しくできる北秋田市に2つ
の願いがあります。

1つ目は、事故や犯罪のない町に
なってほしいということです。鷹巣
町では犯罪が起きています。万引き
や泥棒、誘拐などのたくさん犯罪

が北秋田市では、ゼロになればいい
なと思っています。

2つ目は、きれいな町になってほ
しいということです。特にごみのポ
イ捨てです。ごみを捨てるときれい
な所でも汚くなってしまいます。そ
れに、ごみを見ると歩く人は嫌な気
持ちになってしまうのでやめてほし
いです。

北秋田市は、平和で楽しいきれいな
町になってほしいです。そのため
僕も新しい北秋田市の一員として、
良い市になるようにできることをやっ
ていきたいです。



畠山 義也くん
(東小学校5年)

北秋田市に思うこと

僕は、鷹巣町が、合川町、森吉町、阿仁町と合併して思うことは2つあります。

一つは、合併したら、他の町の人たちとたくさん友達になれるのではないかとことです。僕たちの知らないことを教えてもらったり、い

つしよに遊べたりすると思います。2つ目は、北秋田市になったら、大型の店が近くにたくさんできるのではないかとことです。

今までは、欲しいものを手に入れるためには、わざわざ遠くまで出かけなければならぬことが多かったのです。

でも、合併することによって、鷹巣地区にもたくさんの方が行き来するようになれば、もっと活気にあふれた元気な町になるのではないかと思います。

でも、鷹巣という名前が消えてしまふのは、とてもさびしい気がします。「鷹巣市」ならうれしかったのかな。



佐藤 純子さん
(中央小学校5年)

世界に一つだけのMyシティ

私が北秋田市に期待することは、今まで鷹巣町内7校のうちの少しの学校としか交流がなかったので、この合併を機会に、もっと多くの学校と仲良くなりたいです。

例えば、色々な交流会や合同イベントなどを企画してくれると嬉しい

です。

それからもう一つ、ちよつとした夢があります。それは、大館市のように鷹巣町が市の中心になって、たくさんの人たちが集まるようになってほしいです。そのために、北空港を中核にしたショッピングモールを建てたらどうでしょうか。その中には、私の大好きな百円ショップや洋服屋、レンタルショップなどができてほしいです。空港利用者にとっても、すごく便利なことだと思います。私には、飛行機の初乗りで、ドイツツーランドに行く夢があります。北秋田市の誕生を記念して、市民にチケットの割引券ができればラッキーです。ぜひ実現させて下さい。



太田 麻美さん
(南小学校5年)

私の期待と夢を北秋田市へ

今、私の住んでいる鷹巣町は、今年の3月に北秋田市として生まれ変わります。今の鷹巣町は、福祉の町としてお年寄りに優しいすばらしい町ですが、私は、北秋田市に大きな夢と期待を抱いています。

1つ目は、コンサートができるよ

うな大きなホールができることです。私の将来の夢は歌手になることなので、好きな歌手のコンサートがたくさんできたらいいなと思います。

また、市の色々な行事もできるので、みんなの楽しみも増えると思います。

2つ目は、新しいお店が増えることです。お店が増えると人もたくさん集まって、街が元気になると思います。

私は、北秋田市がいつもにぎやかで、住んでいる人たちが毎日明るい気持ちで暮らせる市になってほしいと思います。



堀部 澄恵美さん
(竜森小学校5年)

広がれ！北秋田市の友達の輪

今年、北秋田市になったら、まず友達を作りたいです。今よりも大きな市になるので、文通をしたり、学校での交流をもっと深めて、たくさんの人と仲良くできるようにしたいです。

また、私はスポーツが好きなので、たくさんの方と一緒にスポーツをしたいです。例えば、陸上では各校の選手たちが集まって練習をしたらいいと思います。タイムを競うとライバルが増えて、記録もぐんとよくなると思います。私は、北秋田を代表するような選手になりたいです。

勉強ももっとがんばります。今のテスト結果が上回るように、家庭学習をやったり、勉強に集中したりして、なんでも覚えられるようにしたいです。そして、市内の学校の友達と一緒に漢字検定や算数検定にもチャレンジしてみたいです。

行政報告

平成16年12月定例議会は、12月10日から22日までの会期で開かれました。議会初日には提出議案の大綱質疑が行われ、14日、15日の2日間にわたって一般質問、16日からは各常任委員会で付託議案等を審議し、22日に閉会しました。12月定例議会の行政報告（財務課から農林課まで）は次のとおりです。

なお、次号では行政報告の続々と、補正予算の概要についてお知らせします。

財務課関係

先に東北森林管理局から鷹巣貯木場敷地の売払い協議があったことについては、11月29日開催の町議会全員協議会での、総合スポーツエリアや文化施設用地としての取得協議結果に基づいて、今議会での取得をめざして参ります。また、旧社会保険事務所の

取得については、合併後の庁舎活用にあてるため購入予定です。

サテライトステーションさかえのステージ増築については、地域各層の要望を踏まえ、栄財産区からの繰入金300万円を含め、利便性の向上に向けて実現に努めて参ります。

まちづくり政策課関係

合併協では、10月1日に新市まりづくり計画（案）を県に提出し、これを受け県市町村合併支援本部が12日に開催され承認されました。

10月15日に新市まりづくり計画（案）について、県知事より異存のない旨の回答が送付され、10月19日に第14回合併協を開催し、新市まりづくり計画が正式に決定しました。

10月19日に、待望の「鷹巣町・合川町・森吉町・阿仁町合併協定調印式」が鷹巣町中央公民館で開催され、寺田県知事を特別立会人として合併調印が行なわれました。

合併調印に基づき、10月25日には鷹巣町、森吉町、阿仁町3町が、翌26日は合川町が臨時議会を開催して、同議案を議決しました。

住民サービス課関係

4町の議会議決により10月29日には、4町長が知事に合併申請を行ないました。11月5日に4町長は秋田県厚生

9月19日、鷹巣阿仁地区環境衛生協議会が推進している「クリーンふるさとデー」に合わせ、早朝クリーンアップを実施しました。

秋の全国交通安全運動が9月21日から30日まで実施されました。21日には交通安全関係機関・団体、交通指導隊など約80名が参加し、合同出発式を行い期間中の無事故を祈念しました。

全国地域安全運動が10月11日から20日まで実施され、期

4町の議会議決により10月29日には、4町長が知事に合併申請を行ないました。11月5日に4町長は秋田県厚生

農業協同組合連合会会長及び3役に公設民営について理解をいただくよう会談して、その後要請書の提出をしています。

間中は防犯指導員、協会員、鷹巣警察署員合同で車上ねらいによる被害防止や自転車の盗難防止を目的に施錠の徹底を図るため、町内各地においてロックパトロールを行いました。

秋の火災予防運動が11月7日から13日まで行われ、消防団が2班に分かれ全町を巡回広報し火災予防の徹底を図りました。また、婦人消防協力隊による街頭広報では火の取扱について注意を呼びかけました。

福祉保健サービス課関係

生きがい活動支援事業に伴う補助金については、現在七日市地区5グループから各2回、綴子地区2グループから各1回の申請があり、交付決定をしています。

在宅酸素療法者を支援するための、酸素濃縮器の使用にかかる電気量の半額助成については、10月期の助成対象者は50人となっています。

平成16年4月1日から児童手当制度が拡充され、支給対象年齢が、義務教育就学前までから、小学校第3学年終了前（9歳到達後最初の年度末）まで拡大されました。本町では、改正に伴う新規請求等を、法施行日より9月30日までの期限内で受付をし、特例により4月1日に遡及して該当者への支払いを完了しています。



支給拡大により新たに支給対象となった児童（公務員等を除く）は259人となっています。

国民健康保険事業に係る9月末の状況は、加入世帯数は年度当初に比べ5世帯増の4372世帯、被保険者数は81人減の8497人となっており、14年10月から新設された前期高齢者数は469人となっています。

また、老人保健事業に係る9月末の老人保健該当者数は、年度当初に比べて101人減の3890人となっています。今年度の集団方式成人検診は、12月実施の乳がん（マン

農林課関係

今年の稲作は、いもち病の発生や台風の影響により、東北農政局発表の10月15日現在の作況指数は、秋田県全体で85、県北は94となり、2年連続の不作となりました。これに伴い、米穀の集荷実績は、契約数量8637tに対し7154t、集荷率82・8%で推移しています。

これに対して、町では県、JA鷹巣町の協力を得ながら、農業再生産支援事業等を通じて、被災農家の救済に向け、

モグラファイ併用）検診を除き、全日程を終了しました。

受診者数は、基本健康診査1355人、胃がん検診1221人、大腸がん検診1130人、子宮・卵巣がん検診383人、前立腺がん検診418人、肺がん検診2545人となつています。また、医療機関方式個別基本健康診査は、701人となっています。

65歳以上の高齢者を対象とするインフルエンザ定期予防接種と肺炎球菌任意予防接種の被接種者数は、10月末日現在でそれぞれ232人、235人となっています。

取組を強化したいと考えています。

畑作関係については、台風被害と市場価格の低迷により、主要品目の夏秋きゅうりは生産量で対前年比14%減、販売額では対前年比44・8%減の6千771万1千円、枝豆1千264万2千円、ししとう2千462万3千円、ねぎ592万1千円、べいなす881万円で、全作物では1億4122万8千円となつています。

町営放牧場については、放牧期間中の事故もなく10月29日、無事に14度目の退牧を行ないました。なお、放牧実績では、総放牧日数176日、平均放牧頭数は1日当たり56・4頭（最大65頭）でした

県営担い手育成基盤整備事業の坊沢地区については面工事57・1ha、施設工として用排水路工を発注済みで70%の進捗です。

蟹沢地区は面工事12・5ha、揚水機場1棟発注済みで75%の進捗です。

榎木田地区は橋台下部工を2基発注済みです。

摩当地区は暗渠排水13・1ha、用水路330mを発注済みです。

綴子地区の基幹水利事業はポンプ機械及び護岸工を発注しています。ため池等については、水路工168mを発注しています。

町単独の民有林整備作業道開設事業については、北秋田森林組合から作業道開設の申請が、湯ノ沢線322・6mと綴子大堤沢1号線316mの2路線あり、湯ノ沢線については、9月中旬検査確認に基づいて補助金の交付を完了しました。

流域公益保全林整備事業については、9月下旬に発注した間伐について10月下旬から11月上旬までに委託業務を完了し検査を実施しました。12月上旬発注分については1月上旬の完成を目指しています。

前山森林交流センター建築工事は、11月中旬に完成し、12月4日に関係者らが出席し、盛大に竣工式及び祝賀会を開催しました。

また、平成17年度第56回秋田県植樹祭開催に向け11月19日に、第1回秋田県実行委員会を行い、会則、開催日時、今後のスケジュール等を協議し、開催に向けて準備を進めています。

地籍調査事業については、平成15年度調査区域である坊沢、鷹巣一部1・93Km²について、11月11日から11月30日まで本閲覧を実施、国への認証手続きを進めています。また、今年度調査区域である綴子、坊沢の一部1・34Km²については、現地再調査を実施しています。

新・たかのす の昔っこ

新・たかのすの昔っこ〈大正期 旧綴子村編〉



再び、昭和元年に発行された小冊子「新しき北秋」から大正期の鷹巣町の姿をご紹介します。今回は、旧綴子村の部分です。綴子村は当時から、長い歴史を持ち、多くの学者・教育者を輩出した村として知られていました。しかし、農業用水の確保に苦心し、干ばつによる被害があったことなども記されています。

「東は早口村、南は栄、坊沢、鷹巣の三力町村、西は七座及び山本郡の藤琴村に隣接して山地が多く、綴子、小田、田子ヶ沢、岩谷、二本杉、一通、大畑、向黒沢、糠沢、大堤、田中、掛泥の十二部落に別れている。

国道は本村の南部糠沢、大堤、綴子を経て坊沢に通じ、綴子川は村の中央を縦貫して米代川に注いでいる。山谷※注1は深いけれど、森林を伐採したる結果、水源枯渇したために数年来早魃かんばつの被害を蒙りこうむ稲作に少なからざる影響を及ぼしていることは本村としては由々ゆゆしき問題でなければならぬであろう。

大正十四年の如き国道以南の約二百町歩の田地は作付不能に陥りて平年作に比し三割に近き減収を見たが如何に不可抗力の干害と称するも有限の土地である以上、灌漑かんがい、排水、

馬耕適肥の配合に考慮を置き、多収穫の方策を講ぜねばならぬ。而も、水源造成涵養かんようは急務中の急であるがこの水を求めけるを目的として耕地整理組合を組織せんとするの議が起こり、近く実現に至らんとしている。副業としては養蚕第一を占むるも、漸くよや一万一千余円に過ぎず、馬産はこれに次ぎ約六十頭にしているべき増殖を得ないが、将来有望なるものにては製炭事業がある。

苳むしろ、繩を主とした藁工品も重要な副業の一にしてその産額三千円に近い。本村三澤定治、畠山徳太郎両氏の経営にしている七輪※注2の製造事業は近年漸く注目され、原料は五兵衛五兵衛山より産し、殆ど無尽蔵と称さるゝも、販路に苦しむを以って規模大にするを得ないが、目下は青森方面に輸出されている。



近代的なプラントから生産される珪藻土製品。(昭和化学工業(株)秋田工場) 綴子産の珪藻土は粒子の細かいものも多く、ろ過助剤やシリコン等の各種充填剤に適している。

「珪藻土」は吸水性、保温性、断熱性、吸着性など様々な特性を持つ自然資源。これらの特性を生かし、ろ過助剤や充填材などの工業製品に加工され、食品・化学・医薬品など広い分野で使われています。

綴子地区も良質な珪藻土の産出地として知られ、小田集落近くの県道沿いに大きな鉱床があり、採掘が行われています。

「綴子村史」によると、珪藻土は明治30年代に七輪の原材料として利用されたのが最初。農家の副業として昭和12年頃まで綴子産珪藻岩製コンロとして生産が行われていたようです。

日本では明治以来の工業化の進展とともに、耐熱レンガやセメントの混和材、製糖用のろ過助剤などとして珪藻土の需要が高まり、綴子でも現在の場所に珪藻土が無尽蔵に埋蔵されていることがわかると、昭和初期頃から徐々に採掘が盛んになってきたようです。

又洗濯石鹼、洗粉の原料或いは製紙工場に供給すべき珪藻土も無尽蔵と称され、一時動力を持つて発掘し、横浜方面に輸出したるも、今は全く中絶しているが、若し製造利用の工夫をなさば、本村の生産事業として相当の収益を挙げ得べきを信ずる。

村社綴子神社及び寶勝寺は何れも綴子にあり、本村は古名を肉入籠（※注4）と言ひ、往昔は駅路の宿として賑わえるも今は国道を通るもの殆どなく、明治天皇御巡行の行在所（※注5）に綴子に残っている。国学者宮野伊賢（※注6）は本村の人である。」

綴子地区は、昭和20年代に始まった土地改良事業が進むまでは、農用水の確保にたいへんな苦労があった村でした。そのため、この中でも干ばつによる被害などについて触れられています。

また、早くから特産品の珪藻土に着目、珪藻岩から切り出した七輪を製品化し、産業化を図っていたことなども紹介しています。

……※注説明……

【注1】 山谷は深いけれど……

綴子村の水源は、昭和20年代に用水改

良事業が行われるまで、綴子川、糠沢川の両河川と散在するため池のみでまかなわれ、しばしば干ばつに見舞われた。

【注2】 七輪
明治30年代後半から昭和12年頃まで、綴子地区から産出される珪藻岩を原材料にした七輪が製作されていた。

【注3】 珪藻土
海や湖に浮遊する単細胞植物「珪藻」の化石を多く含んだ土。綴子から産出される海水産珪藻土を使用したろ過助剤製品は世界的に有名（下記コラム参照）。

【注4】 肉入籠
日本書紀に記されている綴子の古名。現在の呼び方は、この「しりりこ」が転化したものと言われている。

【注5】 宮野伊賢（1682—1757）
京都に上り、大学者伊藤仁斎のもとで学んだ国学者。帰郷後、綴子内館塾の教授となる。著書や書簡が綴子神社の内館文庫に所蔵されている。



綴子神社向かいにある明治天皇行在所跡。江戸中期には、ここに宮野伊賢の私塾が開かれていた。

昭和29年には、綴子珪藻土（株）が発足、大手製造業者向けに採掘事業が行われました。昭和35年、昭和化学工業（株）が現在の地に立地し、近代的なプラントによる生産加工が始まります。その後町内外の数社が起業しましたが、現在は大手の2社による生産が中心となっています。

原土に水分を多く含む珪藻土は、製品化の過程で十分な乾燥が必要です。現在は火力乾燥されていますが、かつては自然乾燥が主流で、昭和40年代ころまで採掘地の周辺には、珪藻土を天日と風にさらして水分を取り除くための乾燥棚が林立してたのが懐かしい光景です。

近年、珪藻土は断熱性や吸湿性などの特性を生かし、環境にやさしい壁剤や建材などの住宅資材などとしても用途が広がっており、町商工会でも町の特産品としての利活用を探っています。



珪藻土の乾燥棚と綴子の人々。前列中央は、昭和29年に発足した「綴子珪藻土（株）」の請負をしていた故佐藤徳太郎氏。昭和31年7月撮影。（昭和化学工業株式会社35年史より）

いざという時のために

◇災害時の避難場所一覧と非常時の備えについて

昨年は、新潟中越地震や台風などによる被害が全国的に多くの人的被害とライフラインに深刻な影響をもたらしました。

突然の災害では、どういう事態が発生するか予測できません。これらの災害の教訓から、いざという時の避難場所や非常時の備えなどを確認しておきましょう。

危険は突然襲ってきます！

日ごろから、災害が起きたときのために、避難場所の確認と、非常時の持出品の用意をしておきましょう



非常持出品

懐中電灯

できれば1人にひとつ用意。予備の電池と電球も忘れずに



携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるものを用意。



非常食・水

カンパンや缶詰など、火を通さずに食べられるものを。水はペットボトルが便利。乳幼児がいる場合には粉ミルクなども忘れずに。



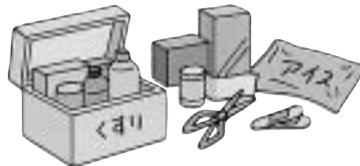
貴重品

現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証、住民票のコピーなど。



救急医療品

キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など。常備薬など



その他

ヘルメット（防災ずきん）、上着、下着、タオル、軍手、紙の食器、ライター（マッチ）、缶切り、ろうそく、ナイフ、ビニール袋、ティッシュ、ビニールシート、生理用品、乳児用品など



●わが家の防災メモ

※緊急時に備えメモしておきましょう

■避難場所

避難場所	家族が離ればなれになったときの集合場所

■緊急連絡先

連絡先	電話	連絡先	電話

災害時の避難場所一覧

●印が避難場所に指定されている施設です

七座・坊沢地区

- 今泉生活改善センター
- 七座健康増進センター
- 坊沢公民館
- 西小学校
- 鷹巣中学校
- 緑ヶ丘担い手センター

綴子地区

- 岩谷林業センター
- 綴子基幹集落センター
- 綴子児童館
- 綴子小学校
- 糠沢自治会館
- サテライトステーション綴子
- 北健康増進センター
- 田中総合センター

栄地区

- 栄生活改善センター
- サテライトステーションさかえ
- 東小学校

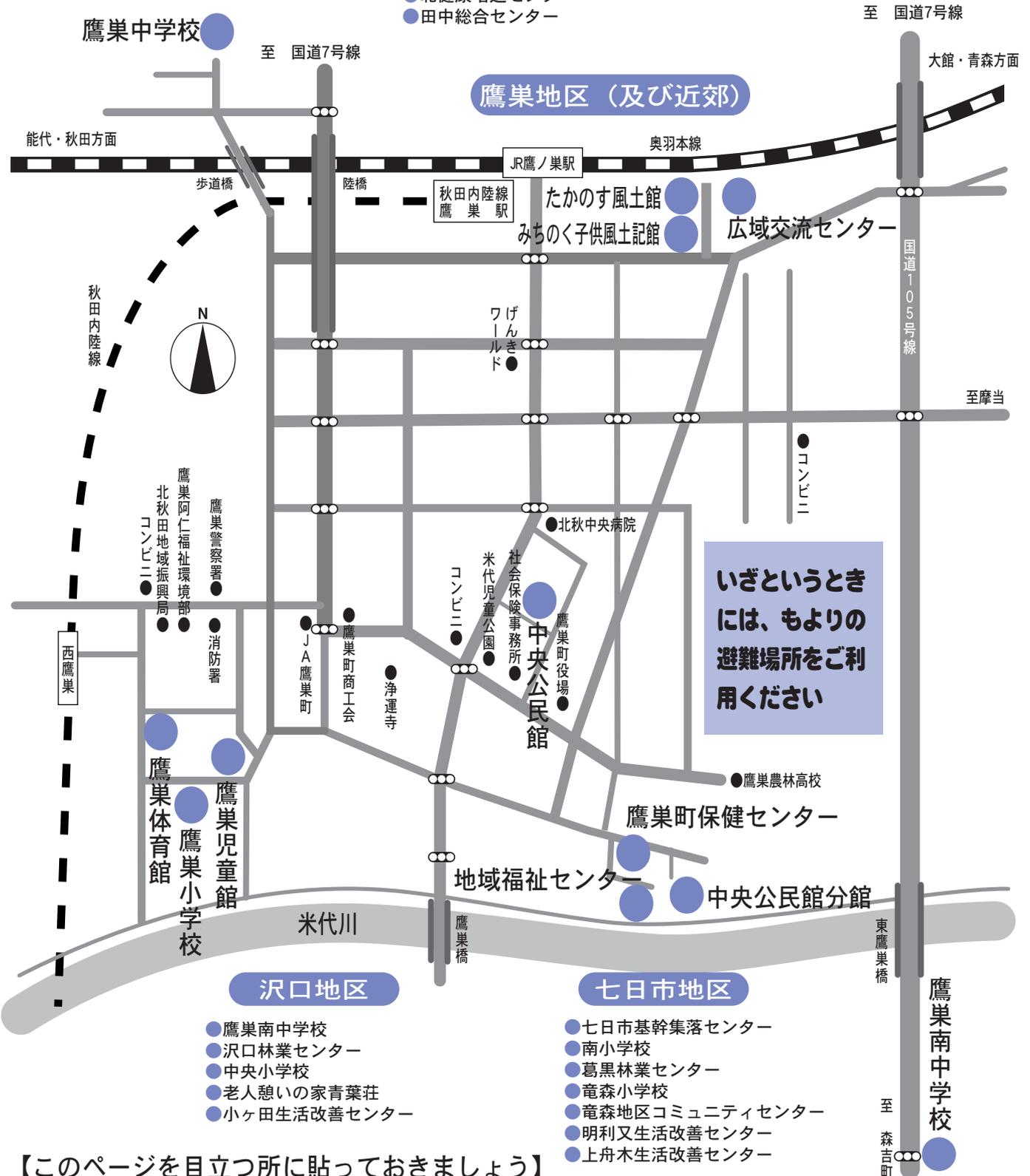
鷹巣中学校

至 国道7号線

至 国道7号線

大館・青森方面

鷹巣地区（及び近郊）



いざというときには、もよりの避難場所をご利用ください

沢口地区

- 鷹巣南中学校
- 沢口林業センター
- 中央小学校
- 老人憩いの家青葉荘
- 小ヶ田生活改善センター

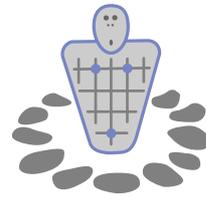
七日市地区

- 七日市基幹集落センター
- 南小学校
- 葛黒林業センター
- 竜森小学校
- 竜森地区コミュニティセンター
- 明利又生活改善センター
- 上舟木生活改善センター

【このページを目立つ所に貼っておきましょう】

「伊勢堂岱遺跡」の 成果と裏側を紹介します

◇第11次調査の報告から◇



●5つ目の環状列石？
●多量の土器・石器が出土
●ユニークなヘアスタイルの
土偶―当時はこの髪型だった？



▲写真左下から右上に向かって。列状に並ぶ配石遺構がつけられている。(写真1)



▲出土した石の多くは、縄文人が小猿部川から運んできたものと推測されています。

国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」の第11次調査は昨年5月から11月までの5カ月間にわたって実施され、多くの発見がありました。今号では、今年度の調査の内容や、調査が進むほどにわかってきた遺跡の魅力について、ご紹介します。

今年度の調査成果について

今年度の発掘調査でわかったことは、環状列石Cの東側で、列状の配石

遺構を発見したことです(写真1)。

この列状配石遺構はこぶし大くらいの石を直線に並べているもので、環状列石として並べられている石と比べて、非常に小さいものです。

石の列はややカーブを描いて、弧になっていることから、縄文人は環状を意識して配石遺構を造っていたようです。

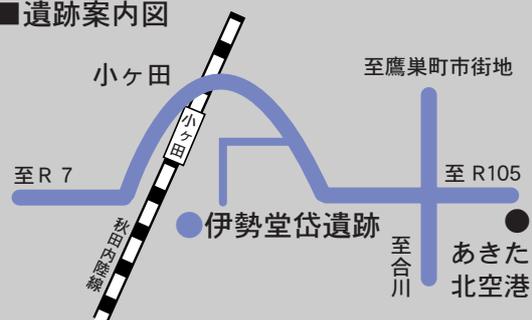
このような発見を、伊勢堂岱遺跡調査指導委員会の委員長である小林達雄、國學院大學教授は「環状

列石のつくり途中のもの」であると評価されました。つまり、縄文人はまず、こぶし大ほどの小さい石を置いてから、少しずつ環状列石に使われるような大きな石を並べていったようです。

これは環状列石がどのようにつくられたかという製作工程を考える上で重要な発見になりました。

普通の発掘調査では小さい石は記録をとって、すぐに取り上げてしまうものであり、なかなか気がつきませんが、丹念に調査を進めていけば、今まで知られていないような事実があるようです。

遺跡案内図





■出土品紹介

今年度の調査の出土品は、発掘面積のわりにはかなりの量でした。ミカン箱に換算して30箱を越えています。ほとんどは縄文土器片、石器です。ここではその中でも、重要なもの、珍しい変わったものいくつか紹介したいと思います



●土偶

土偶で、頭の部分と首の部分が別々に見つかりました。体の部分は出土しませんでした。おそらく、伊勢堂岱遺跡のシンボルマークになっている土偶と同じような形をしていたと考えられます。

また、頭部はターバンのような髪形が印象的で、このような髪形の土偶は第5次調査でも出土しており、この地域特有の髪形であると考えられます。興味のある方は、この縄文ヘアースタイルを再現してみてもはいかがでしょうか？



●土器



高さ11cmと、小形の壺形土器。渦巻の模様が描かれています。まったく壊れておらず、完全なまま出土しました。この中に何が入っていたのでしょうか。骨？ 食べ物？ お酒？

出土品の整理



◀今年もキノコ形土製品が発見されています。縄文人は食べられるキノコを見本として作ったのかもしれませんが。



▶石刀と呼ばれる、石棒の一種です。お祭りに使われたものと言われています。



◀出土した土器を一つ一つ調べて、接合していきます。中には写真のように大きな土器になるものもあります。



出土品の整理から報告書作成について

発掘調査が終わったら、出土品や調査の記録を分析し、発掘調査報告書という本を製作します。例えば、縄文土器ならば、小さなかけらをジグソーパズルのように接合し、

デジタル化が進む発掘調査

拓本や図面で特徴を表現したり、写真撮影作業などがあり、最終的には、発掘調査報告書としてまとめられます。

近年の発掘調査では、作業を効率的に進めるために機械化を図っています。発掘中に土器のかけらを発見したら、その地点を専用の機械で計測することで、北緯、東経、標高を記録することが出来ます。

さらに、そのデータをパソコンで編集すると、どの遺物がどこから出土したか、またたく間に図面になって現れます。

しかし、デジタル化が進んだとはいえ、「シャベルで掘る」、「掘れる土、掘れない土を判断する」といった発掘の基本的な作業は人間の勘や長年の技術が頼りになります。縄文人は我々が予想もしないモノを地中に隠していることもあるので、当時の人気持ちを想像しながら掘らなければなりません。

変哲もないシャベルは現代人と縄文人を結ぶ、かけ橋なのです。



◀遺跡の下に流れている湯車川に今年も鮭が上って来ていました。縄文人もこの鮭を食べたりしていたかもしれません。

自然との共生

伊勢堂岱遺跡は神秘の山です。なぜそのような山なのか。それは自然が豊富だからです。春は環状列石の周りをリスが走り回り、秋にはキノコや木の実、そして湯車川にそ上するサケなど、地元の人が驚くほど豊かな自然からの贈り物にも恵まれています。

実はこのような自然が残っている遺跡は、全国を見渡しても少ないのです。もちろん縄文時代には同じような環境であったのでしょうが、その後、歴史時代に人が住んだりして、破壊される場合が多いようです。最近の見学者の方々は「遺跡見学」だけでなく、「山野草や動物を観察しに来る」方など様々です。このように考古学ファンだけでなく、色々な角度から遺跡をみることも、この伊勢堂岱遺跡の醍醐味の一つではないでしょうか。

そこで、伊勢堂岱遺跡を自然と共生した史跡整備を進めています。つまり、今の自然を残しながら、伊勢堂岱遺跡を学習しやすい場所に整備していきます。来年度は「整備基本計画」の策定を目指しています。遺跡をどのように整備していくか。具体的な将来像がみえて来ました。

(鷹巣町教育委員会
生涯学習振興課 主事)

榎本剛治



◆◆◆ 縄文学習会開催のお知らせ ◆◆◆

今年も縄文学習会を開催いたします。テーマは『伊勢堂岱遺跡の環状列石はいつ、どのようにしてつくられたのか？』3人の縄文時代研究者が、環状列石の大きな謎に挑みます。9月に開催された縄文まつりの劇を題材にして、わかりやすく、そしてくわしく説明します。是非参加下さい。

●主催 鷹巣町教育委員会 文化遺跡ワーキンググループ

●日時 平成17年1月29日(土) 9:30~12:00

●場所 中央公民館3階 大教室

●内容

1. 上映

縄文祭礼劇:「闇の後に光を求めて」 綴子小学校ほか
(第3回縄文まつりから:平成16年9月撮影)

2. 対談「環状列石が造られるまで」

◇コーディネーター 小林 克(秋田県埋蔵文化財センター)

◇出演者 藤井安正(鹿角市教育委員会、大湯ストーンサークル館)

しめ縄づくりに挑戦

中央公民館講座「手づくり夢工房」

中央公民館講座「手づくり夢工房」の受講生らが12月上旬、講座の取り組みとして「しめ縄」づくりにチャレンジしました。

今年度の「夢工房」の活動テーマは伝統的な工芸品づくり。12月はお正月用のしめ縄づくりに取り組んだものです。

会場は、田代町の老人福祉センター。田代町「生産活動寿会」のベテランのみなさんの指導を受けながら、たつぷり時間をかけてしめ縄を完成させました。

自分で作ったしめ縄を自分の家に飾る「夢工房」の皆さんは、いつもより新鮮な気持ちでお正月を迎えられそうです。



完成したしめ縄。これでお正月を飾ります



岸部町長に銅メダル獲得の報告をした笹刈文也さん

笹刈さんが銅メダル

ラージボール卓球全国大会

このほど千葉県で行われた平成16年度全日本ラージボール卓球選手権大会で笹刈文也さん（73歳・鷹巣マスターズ）が銅メダルを獲得、12月17日、岸部町長を訪れ入賞の報告を行いました。

この大会には鷹巣マスターズからも6人が参加、この中から、男子ダブルスAクラス140代（2人の合計年齢）のクラスに出場した笹刈さんと細谷忠芳さん（天館マスターズ）のペアが県勢初の3位となりました。

報告を受けた岸部町長は、「本当におめでとうございます。町から銅メダリストの誕生ですね」と、生涯スポーツで鍛え、いつまでも若々しい笹刈さんの健闘を称えました。

災害に備え通信訓練

東京の消防庁と衛星通信で交信

役場には、災害に備え、衛星通信ネットワークを使用した行政無線が設置されています。

この行政無線を使用した通信訓練が12月17日、鷹巣阿仁広域消防所長らの立会いの下、庁舎1階の住民サービス課で行われました。

訓練は、大地震が発生し、N T T回線が遮断され、かつ停電が起きた状態を想定して行われ、東京の消防庁に恵比原助役が連絡、地震の状況などを伝えました。

町では、新潟中越地震などを教訓に、いつ起こるかわからない災害に備え、これからも各種防災訓練を定期的に行う計画です。



阪神淡路大地震の教訓から設置された行政無線

1月の健康ごよみ

献血日程

1月6日(木) 全血

10:15~12:00 いとく鷹巣南店
13:00~14:20 ケアタウンたかのす
14:50~16:10 鷹巣社会保険事務所

1月19日(水) 全血

10:15~12:00 鷹巣町役場
13:00~14:20 鷹巣技術専門学校
14:50~16:10 北秋中央病院

3歳児虫歯のない子

こだまひろあきちゃん(南中家下)、やまうちゆうきちゃん(糠沢)、やまもとえいすちゃん(田中)、つしまれいちゃん(前野)、つやたくみちゃん(相善岱)、はたけやまみのりちゃん(旭町)、ふじもとたつみちゃん(七日市)、いわもとるいちゃん(相善岱)、おばたかぎきちゃん(材木町)、ほりうちしゅんやちゃん(大堤)、たかはしかないちゃん(深関)、まつおけいとちゃん(太田新田)、つやたいちちゃん(坊沢深沢)、たなかあおいちゃん(米代町)、かわたとごちゃん(大堤)、いわさわゆうかちゃん(花園町)、たかやもえかちゃん(平崎上岱)、むらかみひなちゃん(掛泥)、ふじたなずなちゃん(東中岱)、なりたみつきちゃん(小森)、いちやなぎはるかちゃん(旭町)、さとうはやとちゃん(太田屋敷後)、つかだりようきちゃん(東中岱)

まごわやさしい調理教室開催

●日程及びテーマ

- 1回目 1月20日(木) 「生活習慣病を防ぐ食のヒント」
- 2回目 2月3日(木) 「高血圧予防・調理の工夫で無理なく減塩」
- 3回目 2月17日(木) 「高脂血症予防・コレステロールひかえめ料理」
- 4回目 3月3日(木) 「糖尿病予防・エネルギーをひかえたアイデア献立」
- 5回目 3月10日(木) 「骨粗鬆症予防・カルシウムたっぷりの献立」

●会場 鷹巣町保健センター

●時間 毎回9:30~13:00(試食して終了)

●持参 エプロン、三角巾、筆記用具

●募集 先着30名で全日程参加できる方

※以前参加された方は、ご遠慮ください

●申込 1月14日(金)まで保健センターへ申込みください

健康教室・相談

◎定例健康相談(保健センター)

日時 12日(水) 9:30~11:30
内容 健康相談、血圧測定、尿検査等

◎いきいき健康相談(げんきワールド)

日程 毎週火金 9:30~12:00、13:00~16:00
内容 健康相談・血圧測定など ※祝日は休みです

◎お問い合わせ

鷹巣町保健センター ☎62-6666

妊婦の方

◎母子健康手帳交付とマタニティ講座①

日時 4日(火) 17日(月)

受付 13:00~13:10

◎マタニティ講座②

平成17年4~6月出産予定の方及び家族の方

日時 21日(金) 18:00~20:30

持参 母子健康手帳・テキスト・筆記用具

※14日(金)まで電話で申し込みください。

平成15年4~6月生まれのお子さんのいる方

◎1歳6ヵ月児健康診査

日時 11日(火) 受付 12:30~12:40

持参 母子健康手帳・アンケート票
バスタオル

虫歯予防(フッ素イオン導入)

日時 11日(火) 受付 13:30~15:00

持参 母子健康手帳・タオル

対象 3歳以上で就学前のお子さん

平成12年10月~12月生まれのお子さんのいる方

◎5歳児健康診査

日時 18日(火) 受付 12:30~12:40

持参 母子健康手帳・アンケート票
バスタオル・歯ブラシ

平成16年2・3月生まれのお子さんのいる方

◎10ヵ月児育児相談

日時 25日(火) 受付 9:15~9:30

持参 母子健康手帳・アンケート票
バスタオル・コップ

平成16年9月生まれのお子さんのいる方

◎4ヵ月児健康診査

日時 25日(火) 受付 12:50~13:00

持参 母子健康手帳・アンケート票
バスタオル

キッズパーク(子育てサークル)

日時 7日(金) 10:00~11:30

内容 親子遊び

日時 21日(金) 10:00~11:30

内容 誕生会(1~3月生まれ)

持参 飲み物等各自必要なもの

会場 保健センター

◎お問い合わせ

もろびこども園

☎62-3444



中央公民館 ☎62-1130

- 【1月のロビー展】綴子公民館 洋裁講座
- 1・4 (火) 鷹巣町消防出初式 11:00～13:00
 - 5 (水) 子ども体験活動 9:30～12:00
「ミニオリンピック&餅つき」
 - 6 (木) 第28回新春交流会 (商工会女性部主催)
16:00～19:00
 - 13 (木) 鷹巣町交通安全祈願祭 16:00～18:30
 - 15 (土) 新春チャリティーダンスパーティー
18:00～21:00

フランス料理講習会開催

手近かな材料でフランス料理に挑戦しよう

- 日時 1回目 1月29日 (土) 10:00～13:00
2回目 2月12日 (土) 10:00～13:00
- 場所 鷹巣町中央公民館 調理室
- 講師 田村弘子さん
- 材料代 1,500円程度
- 対象 鷹巣町民で定員24名
- 申込期間 1月4日 (火)～13日 (木)
- ※申込者多数の場合は抽選とします
- ◎申し込み・お問い合わせ
鷹巣町中央公民館 ☎62-1130

ユニカール初心者講習会開催

中高年者の冬期間の運動不足解消と体力維持向上のため開催します。

- 日程 毎週木曜日 9:30～12:00
1月13、20、27日 2月3、10、17、24日
3月3、10、17日
- 場所 鷹巣体育館 ●対象 町内在住の初心者
- 費用 体育館使用料として都度100円
- ※他に若干の暖房費があります
- 服装 軽装 (厳寒の時期のため十分な防寒着衣も必要です)、運動靴、汗拭きタオル
- ◎申し込み・お問い合わせ
鷹巣体育館 ☎62-3800

鷹巣町商店街活性化推進委員募集

商工会では、町の中心商店街の現状と課題を把握し、商店街の活性化及び商業機能の整備充実を図ることを目的として、具体的計画の立案、推進するための委員を募集します。

- 募集人員 3人 ●募集期間 1月5日～10日
- ◎申し込み・お問い合わせ
鷹巣町商工会 ☎62-1850



たかのす風土館 ☎62-3311

- 1・14 (土) 桂文也のジェンダーブレイク 18:00～
- 15 (土) おはなしでてこい 14:00～
ベル・ヴィエントスコンサート
(ストーンレークス共演) 18:30～
- 入場料 前売800円 当日1,000円

子育て支援ワーキンググループ全体会開催

子育てと仕事の両立ができ、安心して子どもを育てやすい環境整備のために、子育て支援ワーキンググループは、全体会を開催します。子育てに関する課題は山積しており、その課題解決に向け行政と協働で取り組んでいきたいと考えております。会員はもとより新たに参加を希望する方は、当日、会の趣旨説明や新たなグループ編成も行ないますので、どうぞこの機会に気軽に参加願います。

- 日時 1月21日 (金) 18:30～
- 会場 鷹巣中央公民館 1F 研修室
- ◎お問い合わせ
福祉保健サービス課福祉係 ☎62-1111



1月の町立図書館

1、2、3、4、5、10、12、16、19、26は
休館日です
開館時間 9:00～17:00

ひまわりの家からのお知らせ

- 休館日 1、2、11、17、24、31日
- 営業時間 午前8時30分～午後7時まで
- ◎お問い合わせ
☎78-4025 FAX 78-3398

社会福祉法人合併公告

当社会福祉法人鷹巣町社会福祉協議会は、平成17年3月22日社会福祉法人北秋田市社会福祉協議会に合併して解散する旨を、理事会及び評議員会において議決しましたので、この合併につき異議のある債権者は、本公告掲載の日から平成17年3月10日までにその旨を御申し出下さい。

平成17年12月30日

秋田県北秋田郡鷹巣町宮前町9番68号
(消滅法人)社会福祉法人鷹巣町社会福祉協議会
会長 松橋一英

慶弔だより

12月1日～15日届出分・一部敬称略



お誕生おめでとう
ございます

佐藤 来美^{くるみ}ちゃん(浩美咲)長女 前野



お二人の前途を
祝福します

池田 恒平^{こうへい}さん 宮前町
 柿崎 理貴^{りき}さん 弘前市
 成田 健^{けん}さん 小森
 近藤 麻利子^{まりこ}さん 高村岱

おくやみ申し上げます

長岐 ミ工^{みこう}さん (77歳) 掛泥
 多賀谷 由一^{ゆいつち}さん (29歳) あけほの町
 青山 咲^{さき}さん (76歳) 平成町
 佐々木 幸子^{ゆきこ}さん (69歳) 新舟見町
 渡邊 光美^{みつみ}さん (36歳) 花園町
 佐藤 権七^{ごんしち}さん (89歳) 妹尾館
 米澤 イサ^{いさ}さん (84歳) 糠沢
 中嶋 睦子^{むつこ}さん (70歳) 堂ヶ岱
 工藤 ア工^{あこう}さん (64歳) 舟見町
 佐藤 昌子^{まさこ}さん (65歳) 横瀨
 吉田 勝^{まさる}さん (60歳) 掛泥
 中嶋 岩司^{いわじ}さん (67歳) 舟見町
 戸嶋 三八^{さんぼち}さん (83歳) 坊沢大町
 武藤 マサ^{まさ}さん (91歳) 花園町

税の納期限

町県民税第4期
国民健康保険税第7期
1月31日まで

鷹巣阿仁広域市町村圏組合 消防吏員採用試験のご案内

- 試験区分及び採用予定人員 初級 1名
- 受験資格
 - (1) 昭和54年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた者
 - (2) 高等学校卒業者または卒業見込者
 - (3) 当消防本部任用規程に定める身体基準に適合する者
 - (4) 住所要件
 - ア. 鷹巣町に住所(住所登録)を有している者を原則とする
 - イ. 町外に就職または就学のため鷹巣町から転出した者で、世帯主(両親等)が鷹巣町に住所(住所登録)を有している者
- 受付期間 1月7日(金)午後3時まで
- 第1次試験日 1月22日(土)
- 試験会場 鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部
- ◎申し込み・お問い合わせ
鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部総務課 ☎62-1119

秋田県知事選挙 啓発標語大募集

- 応募要領 (一人一点) 県内在住のかた(年齢不問)
- 応募方法 官製はがきかメールで応募してください。標語のほか、住所・氏名・年齢・電話番号を記入してください。
- 表彰 入賞者には賞状のほか副賞(最優秀2万円相当、佳作5千円相当)を贈呈します。
- 応募期間 1月24日(月)まで
- ◎応募・お問い合わせ 〒010-8570
秋田市山王4-1-1 秋田県選挙管理委員会事務局
E-Mail senkan@pref.akita.lg.jp



夜間当番医(夜間)日程表

(午後6:30～9:00)

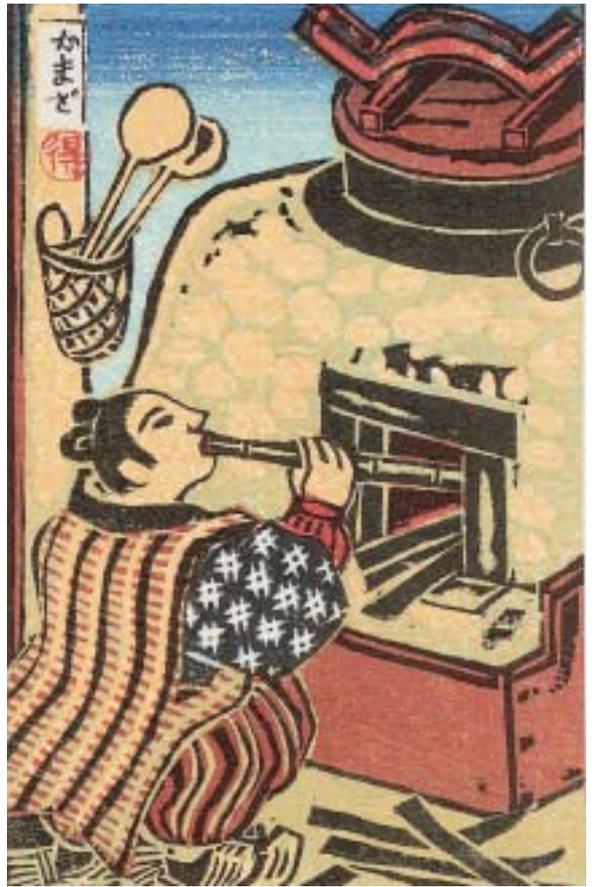
日	曜	医療機関名	電話番号
1	土	北秋中央病院	62-1455
2	日	北秋中央病院	62-1455
3	月	北秋中央病院	62-1455
4	火	としま医院	62-1267
5	水	戸嶋産婦人科医院	62-1123
6	木	近藤医院	62-1155
7	金	北秋中央病院	62-1455
8	土	毛利整形外科クリニック	69-5300
9	日	津谷内科	62-2261
10	月	遠藤クリニック	63-0515
11	火	石川耳鼻咽喉科医院	62-1400
12	水	藤原医院	62-2882
13	木	たむら内科クリニック	63-2700
14	金	北秋中央病院	62-1455
15	土	うえだクリニック	60-1055
16	日	奈良医院	62-1146

○ 応急の診察を要する患者。
 ○ 往診はしておりません。
 ○ 仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診

療に応じかねます。
 ※年齢・病気の病状にかかわらず当番医に電話等でご相談ください。



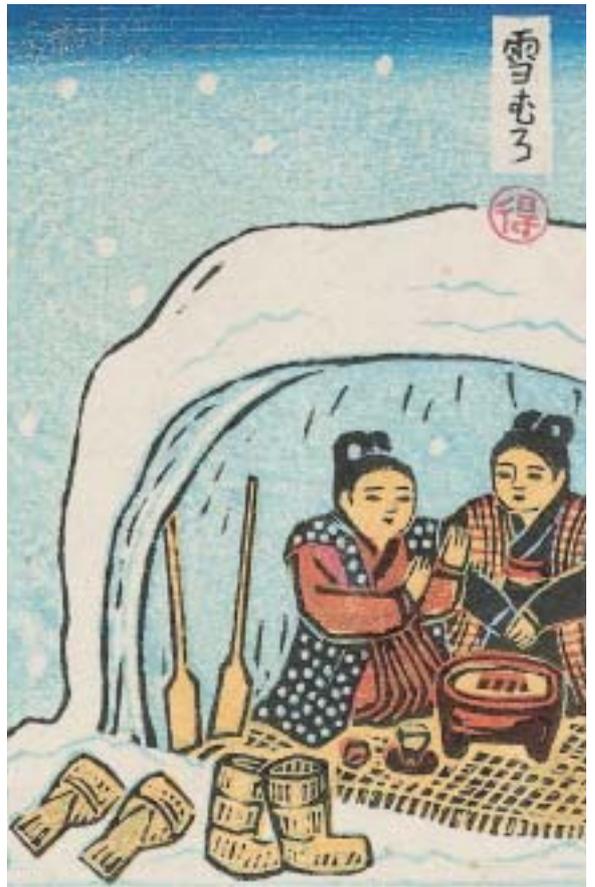
「まゆだま」



「かまど」



「えじめ」



「雪むろ」

【勝平得之 (1904-1971)】

勝平得之は、郷土・秋田を愛した版画家。秋田の自然や風俗をテーマにしたあたたかな作風で多くの人々に親しまれている。「冬の版画集」は、現在町教育委員会が管理している得之の作品集の一部。今はあまりみられなくなった冬の秋田の風俗が生き生きと描かれている。